

法学委員会・心理学・教育学委員会合同

法と心理学分科会

第8回会議議事録

■ 日時 2026年1月10日(土) 15時00分～18時50分

■ 方法 ウェブ会議

■ 参加者(五十音順、敬称略)

大江美佐里(久留米大学、精神医学)、笠井修(中央大学、民法)、金澤真理(大阪公立大学、刑法・刑事政策)、唐沢かおり(東京大学、心理学)、川嶋四郎(同志社大学、民事訴訟法)、行場次朗(東北大学名誉教授、心理学)、笹倉香奈(甲南大学、刑事訴訟法)、土井政和(九州大学名誉教授、刑事政策)、豊崎七絵(九州大学、刑事訴訟法)、仲真紀子(理化学研究所、心理学)、西希代子(慶應義塾大学、民法)、平山真理(白鷗大学)刑事訴訟法・刑事政策)、松宮孝明(立命館大学、刑法)

■ 欠席者

なし

■ 議事概要

1. 開会、前回議事録の確認

笠井委員長より冒頭のあいさつと本日の進行内容について説明があった。

前回議事録の確認が行われ、異議なく承認された。

2. 研究報告ならびに質疑

① 西希代子氏(慶應義塾大学大学院法務研究科教授)「高齢者法と心理学の接点」

② 平山真理氏(白鷗大学法学部教授)「検察審査会:公訴権の実行に民意を反映させるこのユニークな制度についての法学・心理学共同研究の意義」

西希代子氏、平山真理氏により、上記のテーマで研究報告が行われ、それぞれ意見を交換した。

3. 今後の研究の進め方について

- ① 今年 9 月 4 日から 6 日に東洋大学にて開催される日本心理学会でのシンポジウムにおいて公募シンポジウムを他学会連携企画の形で実施する方向で準備する。他学会連携企画が難しければ、公募シンポジウムとして申請する。
- ② 次回は 4 月 25 日(土)15 時より行場次朗氏による研究報告および質疑の予定。

以上